

令和7年度使用  
中学校用教科用図書  
採択参考資料

技術・家庭（技術分野）

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	技術 002-72
6 教図	技術 006-73・006-74
9 開隆堂	技術 009-72



# 技術・家庭（技術分野）

## I 教科用図書の調査研究に当たって

### 1 調査対象教科用図書

2 東書          6 教図          9 開隆堂

### 2 調査研究の観点

- (1) 技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することができる内容であるか。
- (2) 問題解決的な学習が進められるよう配慮されており、生徒の興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 実習例、課題の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 写真、図表、資料等が適切であり、他の学習内容との関連を示すなど学習内容の理解や問題の解決に役立つよう配慮されているか。

### 3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるよう配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいよう配慮している。

## II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究 ..... 観点(1)～(4)
  - ① 内容別の構成とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数
  - ② 学習内容の理解や問題の解決につながる課題や事例
  - ③ 学習内容の理解や問題の解決につながる関連表示
- (2) 問題解決的な学習に関すること ..... 観点(2)
- (3) 生徒や学校、地域の実態に関すること ..... 観点(2)
- (4) 実習例、課題の構成等に関すること ..... 観点(3)
- (5) 表記や表現、資料等の工夫に関すること ..... 観点(4)

1 概括的な調査研究

(1) 内容別の構成とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

	項数	内容	図・表・資料・参考等	写真	二次元コードの数
ガイダンス	14	5	0	49	6
A材料と加工の技術	62	11	63	297	31
B生物育成の技術	48	12	47	238	23
Cエネルギー変換の技術	62	16	71	243	31
D情報の技術	68	19	75	180	34
統合的な問題解決	6	1	0	36	3
合計	260	64	186	1043	128

※図・表・資料・参考等は、「図」「表」「資料」「ポイント」「検査・修正」のマークで示された数。

※写真は、個々に撮影されたと思われるものをそれぞれ数えた。

(2) 学習内容の理解や問題の解決につながる課題や事例

	課題・実験・観察	実習例	安全・衛生
ガイダンス	2	0	0
A材料と加工の技術	28	3	14
B生物育成の技術	27	3	4
Cエネルギー変換の技術	41	3	6
D情報の技術	35	6	0
統合的な問題解決	0	2	0
合計	133	17	24

※課題・実験・観察は、「レッツスタート」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」「やってみよう」「実験」「観察」「すごいぞ!技術」のマークで示された数。

※実習例は、問題解決例で示された数。

※安全・衛生は、「安全」「衛生」のマークで示された数。

(3) 学習内容の理解や問題の解決につながる関連表示

	他の内容との関連	他教科との関連	異校種との関連	今日的な課題との関連
ガイダンス	0	1	0	0
A材料と加工の技術	7	6	0	10
B生物育成の技術	7	4	1	9
Cエネルギー変換の技術	6	9	2	5
D情報の技術	11	2	2	4
統合的な問題解決	2	0	0	0
合計	33	22	5	28

※他の内容との関連は、他の編の学習との関連を示す「リンク」のマークで示された数（家庭分野を含む）。

※他教科との関連は、他教科との関連を示す「他教科リンク」のマークで示された数。

※異校種との関連は、異校種との関連を示す「小学校リンク」のマークで示された数。

※今日的な課題との関連は、「技術の天びん」「環境」「防災」「情報モラル」「消費者」「伝統文化」のマークで示された数。

## 2 問題解決的な学習に関すること

- 各編の問題解決の流れを「問題の発見、課題の設定」「設計・計画」「製作、制作、育成」「成果の評価、改善・修正」「新たな問題の発見」の5つのプロセスで構成している。
- 「未来を創る技術による問題解決」において、シェアサイクルを例に挙げ、企業の問題解決の例を紹介している。
- 各編の問題解決の例として、「もっと問題解決」を掲載している。
- 各編に各編の問題解決で用いる「未来の Technology」を掲載している。
- 各編において、問題解決のまとめとして「各編の技術の最適化」を掲載している。

## 3 生徒や学校、地域の実態に関すること

- 「技術の匠」において、技術分野の学習を生かした仕事に関わっている人物からのメッセージを掲載している。
- 「栽培カレンダー」として、地域の気候に応じた作物の栽培について一覧表で掲載している。
- SDGs（持続可能な開発目標）を示し、SDGsや持続可能な社会について掲載している。
- 「Society5.0のその先へ」において、Society5.0を取り上げ、社会で使われている技術の具体例を掲載している。
- 「伝統文化」マークを用いて、日本の伝統と文化に関する資料を掲載している。
- 中学生と思われる男女4名と、2種類のキャラクターのイラストを用いている。

## 4 実習例、課題の構成等に関すること

- 「技術分野のガイダンス」の「技術の見方・考え方」において、技術分野の見方・考え方を示し、各編においても各編の技術の見方・考え方を示す構成となっている。
- 実習例として、A編では「あったらいいなを形にしよう」「誰かのためのあったらいいなを形にしよう」等、B編では「持続可能な食料生産のためにできることは何だろう」「地域の特産物を未来につなげよう」等、C編では「持続可能な社会のための製品開発」「生活や社会のために役立つ機構モデルを開発しよう」等、D編では「できたらいいなを形にしよう」「誰かのためにできたらいいなを形にしよう」等を掲載している。
- 統合的な問題解決の実習例として、「露地栽培と植物工場 日本の農業を救うのは?」「未知の場所への調査ロボットを開発しよう」等を掲載している。
- 「製作・制作・育成の活動の要点」を「ポイント」マークを用いて示している。

## 5 表記や表現、資料等の工夫に関すること

- 「技術分野のガイダンス」、内容A～D、「統合的な問題解決」の6つの内容にまとめている。
- 巻頭に「ようこそ技術の世界へ」「目次」「教科書の構成と使い方」「デジタルコンテンツを活用しよう」「技術分野の学習方法」「作業を楽しく安全に進めよう!」「SDGsとTechnology」、巻末に「技術分野の学習を終えて」「コンピュータの基本操作」「プログラミング手帳」「さくいん」「STEAMでつながる、広がる」「Society5.0のその先へ」を掲載している。
- 巻頭において、作業の安全な進め方についてチェックリストを掲載している。
- 見開き左側ページの上段に「目標」「キーワード」を示している。
- 学習のまとめの「まとめの活動」において、「まとめよう」「振り返ろう」「深めよう」をページ下に掲載している。
- 各編末に練習問題、学習の振り返りを記載できる「学習のまとめ」を設けている。
- ページ下部に「技術の工夫」として、技術に関する資料を掲載している。
- 巻末の「プログラミング手帳」において、「Scratch」「ドリトル」「JavaScript+HTML」「Python」の4つのプログラミング言語を掲載している。
- 背表紙に、「保護者の皆様へ」として、保護者に向けた技術分野の説明を掲載している。
- 書体や色使い、レイアウト等にユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- サイズはA B判。

1 概括的な調査研究

(1) 内容別の構成とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

	項数	内容	図・表・資料・参考等	写真	二次元コードの数
ガイダンス	16(0)	1(0)	0(0)	68(0)	1(0)
A材料と加工の技術	56(12)	8(6)	58(12)	299(87)	12(6)
B生物育成の技術	42(11)	8(8)	35(2)	205(68)	9(4)
Cエネルギー変換の技術	60(5)	13(3)	66(4)	301(22)	11(3)
D情報の技術	74(10)	16(6)	78(1)	219(61)	20(2)
統合的な問題解決	14(0)	1(0)	0(0)	14(0)	0(0)
合計	262(38)	47(23)	237(19)	1106(238)	53(15)

※ ( ) は別冊「新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト」の数。

※図・表・資料・参考等は、「資料」「ポイント」「おすすめポイント」「なぜだろう?」「こんなときは!」のマークで示された数。

※写真は、個々に撮影されたと思われるものをそれぞれ数えた。

(2) 学習内容の理解や問題の解決につながる課題や事例

	課題・実験・観察	実習例	安全・衛生
ガイダンス	0	0	0(0)
A材料と加工の技術	19	4	11(13)
B生物育成の技術	24	6	3(7)
Cエネルギー変換の技術	26	6	12(4)
D情報の技術	42	5	4(0)
統合的な問題解決	0	0	0(0)
合計	111	21	30(24)

※ ( ) は別冊「新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト」の数。

※課題・実験・観察は、「見つける」「やってみよう」「もっと知ろう」「考えてみよう」のマークで示された数。

※実習例は、題材例で示された数。

※安全・衛生は、「安全」「衛生」のマークで示された数。

(3) 学習内容の理解や問題の解決につながる関連表示

	他の内容との関連	他教科との関連	異校種との関連	今日的な課題との関連
ガイダンス	0	0	0	1
A材料と加工の技術	1	0	0	14
B生物育成の技術	1	2	3	5
Cエネルギー変換の技術	3	6	1	3
D情報の技術	0	3	4	6
統合的な問題解決	0	0	0	0
合計	5	11	8	29

※他の内容との関連は、他の編の学習との関連を示す「関連」のマークで示された数(家庭分野を含む)。

※他教科との関連は、他教科との関連を示す「関連」のマークで示された数。

※異校種との関連は、異校種との関連を示す「関連」のマークで示された数。

※今日的な課題との関連は、「情報モラル」「共生」「防災」「環境」「伝統文化」「知的財産」「消費者」のマークで示された数。

## 2 問題解決的な学習に関すること

- 各編の問題解決の流れを「イメージしよう」「設計しよう(考えよう)」「完成させよう(育てよう)」「活用しよう(ふり返ろう)」の4つのステップで構成している。
- 「技術の問題解決ってなに？」において、自転車为例に挙げ、企業の問題解決の例を紹介している。
- 各編の問題解決の例として、「プチ問題解決にチャレンジ!」を掲載している。
- 巻末に各編の問題解決で用いる「設計計画シート」「計画育成シート」を掲載している。
- 各編において、問題解決のまとめとして「問題解決をふり返ろう」を掲載している。

## 3 生徒や学校、地域の実態に関すること

- 「先輩に聞いてみよう」「先輩からのメッセージ」において、中学生や技術分野の学校に進学した先輩からのメッセージを掲載している。
- 「栽培ごよみ」として、地域の気候に応じた作物の栽培について一覧表で掲載している。
- SDGs(持続可能な開発目標)を示し、SDGsや持続可能な社会について掲載している。
- 各編の「技ビト」「スゴ技」「未来をつくろう」において、Society5.0を取り上げ、社会で使われている技術の具体例を掲載している。
- 「伝統文化」マークを用いて、日本の伝統と文化に関する資料を掲載している。
- 中学生と思われる男女4名と、教師男女2名と思われるイラストを用いている。

## 4 実習例、課題の構成等に関すること

- 「ガイダンス」の「技術の問題解決ってなに？」において、技術分野の見方・考え方を示し、各編においても各編の技術の見方・考え方を示す構成となっている。
- 実習例として、A編では「調味料ホルダー」「便利なプランターラック」等、B編では「ミニダイコン」「ミニトマト」等、C編では「閉め忘れ防止オルゴール」「人型二足歩行ロボット」等、D編では「PTAバザーの案内マップ」「私の町の天気予報」「自動点灯・消灯ライト」「自動かん水機」等を掲載している。
- 統合的な問題解決の社会における活用例として、「ピーマンの自動収穫ロボット」「山間部に荷物を運ぶドローン」等を掲載している。
- 別冊において、「製作・制作・育成の活動の要点」を「ポイント」マークを用いて示している。

## 5 表記や表現、資料等の工夫に関すること

- 「ガイダンス」、内容A~Dの4編、「夢をかなえる技術」「ファイナル」の7つの内容にまとめている。
- 「ガイダンス」に「技術を見つけよう」「技術ではどのようなことを学ぶのかな」「学習内容への道案内」「それぞれどんな技術があるかな」「技術の問題解決ってなに？」等、「ファイナル」に、「将来のあなたへ 先輩からのメッセージ」「日本の技術を支える人々の想い」「さくいん」「博物館に行ってみよう!」「未来の社会を創造しよう!」を掲載し、別冊として「新技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト」を付属している。
- 「ガイダンス」並びに各編において、実習や見学の安全な進め方について掲載している。
- 見開き左側ページの上段に「めあて」、「キーワード」を示している。
- 学習のまとめの「ふり返る」において、ふり返りをレ点でチェックできる欄をページ下に掲載している。
- 各編末に練習問題、学習のふり返りを記載できる「まとめ」を設けている。
- 別冊において、実習に関する資料を掲載している。
- 別冊において、「スモウルビー」「なでしこ」「スクラッチ」「Python3」「Javascript」「Ruby」の6つのプログラミング言語を掲載している。
- 背表紙に、「保護者のみなさまへ」として、保護者に向けた技術分野の説明を掲載している。
- 書体や色使い、レイアウト等にユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。
- サイズはA4変型判。

1 概括的な調査研究

(1) 内容別の構成とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

	項数	内容	図・表・資料・参考等	写真	二次元コードの数
ガイダンス	20	1	1	59	7
A材料と加工の技術	80	8	169	297	34
B生物育成の技術	52	6	53	200	18
Cエネルギー変換の技術	54	7	88	228	21
D情報の技術	74	10	152	223	37
統合的な問題解決	24	1	1	105	5
合計	304	33	464	1112	122

※図・表・資料・参考等は、「図」「表」「資料」「参考」のマークで示された数。

※写真は、個々に撮影されたと思われるものをそれぞれ数えた。

(2) 学習内容の理解や問題の解決につながる課題や事例

	課題・実験・観察	実習例	安全・衛生
ガイダンス	9	0	2
A材料と加工の技術	31	7	17
B生物育成の技術	14	8	1
Cエネルギー変換の技術	19	4	5
D情報の技術	35	13	0
統合的な問題解決	2	3	0
合計	110	35	25

※課題・実験・観察は、「学習課題」「やってみよう」「実験」「発展」のマークで示された数。

※実習例は、実習例で示された数。

※安全・衛生は、「安全」のマークで示された数。

(3) 学習内容の理解や問題の解決につながる関連表示

	他の内容との関連	他教科との関連	異校種との関連	今日的な課題との関連
ガイダンス	0	0	0	1
A材料と加工の技術	14	0	0	11
B生物育成の技術	3	2	4	12
Cエネルギー変換の技術	1	1	0	9
D情報の技術	6	1	0	9
統合的な問題解決	0	0	0	0
合計	24	4	4	42

※他の内容との関連は、他の内容の学習との関連を示す「リンク」のマークで示された数（家庭分野を含む）。

※他教科との関連は、他教科との関連を示す「他教科」のマークで示された数。

※異校種との関連は、異校種との関連を示す「小学校」のマークで示された数。

※今日的な課題との関連は、「トレードオフ」「環境」「防災」「伝統文化」のマークで示された数。



## 2 問題解決的な学習に関すること

- 各内容の問題解決の流れを「問題の発見と課題の設定」「設計・計画」「製作・制作・育成」「評価・改善」の4つの流れで構成している。
- 「企業では、どのように製品開発を行っているのかな？」において、ヘア 드라이ヤーを例に挙げ、企業の問題解決の例を紹介している。
- 各内容の問題解決の例として、「既存の製品を読み解こう」を掲載している。
- 各内容に各内容の問題解決で用いる「問題解決のふり返しシート」を掲載している。
- 各内容において、問題解決のまとめとして「各内容の学習をふり返ろう」を掲載している。

## 3 生徒や学校、地域の実態に関すること

- 各編の「interview」において、技術分野の学習を生かした仕事に関わっている人物からのメッセージを掲載している。
- 「栽培ごよみ」として、地域の気候に応じた作物の栽培について一覧表で掲載している。
- SDGs（持続可能な開発目標）を示し、SDGsや持続可能な社会について掲載している。
- 「よりよい生活や社会に向けて、つくられ、工夫されていく技術」において、Society5.0を取り上げ、社会で使われている技術の具体例を掲載している。
- 「伝統文化」マークを用いて、日本の伝統と文化に関する資料を掲載している。
- 中学生と思われる男女4名のイラストを用いている。

## 4 実習例、課題の構成等に関すること

- 「ガイダンス」の「技術の見方・考え方」において、技術分野の見方・考え方を示し、各内容においても各内容の技術の見方・考え方を示す構成となっている。
- 実習例として、Aでは「小さなスペースで机の上を整理・整頓できるマルチラック」「家族で使える充電しやすいタブレットスタンド」等、Bでは「ミニトマトの栽培」「リーフレタスの養液栽培」等、Cでは「非常時に光る防災用ライト」「フォークリフトつき自動車モデル」等、Dでは「安心して使えるメッセージ交換アプリ」「ネット対戦型タイピング練習」「防災地図アプリ」「無人レジシステム」等を掲載している。
- 統合的な問題解決の実習例として、「目の不自由な人が安全に外出を楽しめるデジタル白杖」「ミニ植物工場ーコマツナの苗の育成」等を掲載している。
- 「しくみの最適化の視点」を「Wants」「安全」「環境」「経済」マークを用いて示している。

## 5 表記や表現、資料等の工夫に関すること

- 「ガイダンス」、内容A～D、「技術分野の出口」の6つの内容にまとめている。
- 巻頭に「ようこそ、新たな学びへ！」「ひみつ道具は実現している？」「企業では、どのように製品開発を行っているのかな？」「目次」「SDGsの目標実現のために、技術ができることはなんだろう？」、巻末に「コンピュータの基本操作」「プログラミング」「さくいん」「技術分野の学習を終えて」「命を守る防災、医療・介護の技術」「技術による問題の解決を考えよう」「持続可能な社会を目指して」を掲載している。
- 「ガイダンス」において、作業の安全な進め方についてチェックリストを掲載している。
- 見開き左側ページの上段に「学習の目標」を示している。
- 学習のまとめの「CHECK」において、ふり返りをレ点でチェックできる欄をページ下に掲載している。
- 各編末に練習問題、学習のふり返りを記載できる「学習のまとめ」を設けている。
- 見開きページ下部に「豆知識」として資料、右ページ上部に工具等の写真を掲載している。
- 巻末の「プログラミング」において、「C」「Ruby」「PHP」「Scratch」「Javascript」「Python」「BASIC」「ドリトル」の8つのプログラミング言語を掲載している。
- 背表紙に、「保護者の皆様へ」として、保護者に向けた技術分野の説明を掲載している。
- 書体や色使い、レイアウト等にユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- サイズはA B判。

